# 石西通信

練馬区立石神井西小学校
学校通信　１月号
令和４年１月８日発行

12/11 音楽発表会　４年「エルクンバンチェロ」

## 令和四年度を見据えて

校長　青山　直志

新年あけましておめでとうございます。早いもので、このコロナ禍になって二年という月日が流れようとしています。

一月二日、我が家の近所にある神社に二年ぶりにお参りに行きました。多分、混雑しているであろうと、お昼過ぎを狙って行ったのですが、参道には長蛇の列。手水舎で手、口を清め、お賽銭を投げ入れ、二礼二拍手一礼をするまで一時間半もかかりました。お焚き上げにも多くの人々が集まっており、二年間という月日を改めて感じることとなりました。

昨年夏の爆発的感染拡大の後は比較的落ち着いた状況で、学校生活も日常を取り戻しつつありました。しかし今後、オミクロン株という新たな敵との闘いになりそうです。肺の奥部で増殖するデルタ株に比べ、上気道で増殖するオミクロン株は、重症化のリスクは低いものの、その分感染力は非常に高いと言われています。

繰り返しになりますが、学校では教育活動がストップしてしまうクラスターを絶対に起こさないよう、これまで培ってきた感染防止策を徹底して参ります。併せて、各ご家庭におかれましては、毎朝の検温をはじめ、お子様の健康管理に留意され、無理のない登校を心掛けていただければ幸いです。

さて、練馬区は第二土曜を授業日と定めておりますので、本日から三学期が始まりました。来週からは給食をはじめ、本格的に教育活動が始まりますが、一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言われるように、時の流れの速さに私たちが改めて気づかされる季節です。これまでもお話してきましたが、コロナ禍でこその教育改革を令和四年度を見据えて実行していかなければなりません。

この学校通信も今月号からＡ４表裏に再編しました。学年通信等と情報が重複していたことが主な理由ですが、教職員の働き方改革も念頭に、コンパクトで実効性のある教育活動が展開できるよう知恵を絞って参ります。

最後に、前述の音楽会を含めた文化的行事について、今後のサイクルを改めて確認させていただきます。

・令和四年度　展覧会
・令和五年度　音楽会
　（練馬区連合音楽会）
・令和六年度　学芸会
・令和七年度　展覧会
・令和八年度　音楽会
　（創立百五十周年記念式典）
・令和九年度　学芸会